

花がたみ

寒気にめげぬ牡丹

花の盛りも富貴草

つきぬたのしみむつまじき。

東雲に

時をぬけし初がらす

霞もひくや

三本の

根曳の松の野も山も

のどかに笑ふ梅が香や

桜ほのめく愛嬌の

よろしい春もはや過ぎて

藤もかきつもゆかりのいろに

皐月の雨の小止みなく

またいつあとをの約束も

離れぬ中へさし込む月に

あかす砧の布ざらし

ひらり と桐一葉

落ちて伏猪の眠りをさます

萩ののぞみし川伝ひ

しるしの石の道こえて

谷の小菊もなつかしと

一河の流れ盃へ

受けて紅葉の酒のかん